

2022年度第2四半期 決算補足資料

2022年11月14日



※P.7ダイカスト北米 売上重量グラフ、P.8ダイカストアジア コメント内表記等の誤記に伴い資料を更新しております。(11/21)

2022年度第2四半期 決算サマリー

■第2四半期実績

ダイカスト日本：第2四半期は黒字化

ダイカスト北米：第1四半期に比べ収益が改善

ダイカストアジア：中国拠点（12月決算会社）が上海ロックダウン影響等の反映により第2四半期大きく落ち込むが、ロックダウン後は順調に回復

■2022年度業績見通し

下期は20年度下期以来の黒字転換、通期でも黒字確保を見込む。

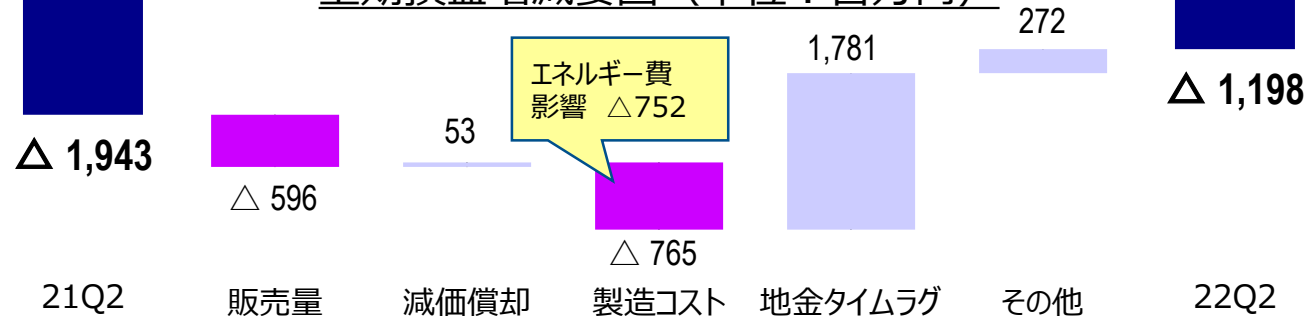
- ・生産体制の効率化・原価低減活動と売上重量の増加による業績回復
- ・エネルギー費高騰への対応として、顧客との間で製品価格の是正が一部進展

2022年度 第2四半期計画対比

(単位：百万円)

	上期		下期		通期	
	前年同期実績	実績	前年同期実績	修正計画 (11/14)	前年同期実績	修正計画 (11/14)
売上高	54,647	66,536	61,666	79,600	116,313	146,100
営業利益	△1,943	△1,198	△479	2,700	△2,422	1,500
経常利益	△1,680	△820*	△352	2,400	△2,032	1,600
当期純利益	△1,780	△830	△3,409	1,800	△5,189	1,000
配当	5	5	5	5	10	10
売上重量 (2018年度を100とした指標)	74	71	73	89	74	81

上期損益増減要因 (単位：百万円)



修正計画の前提レート (第3四半期以降) :

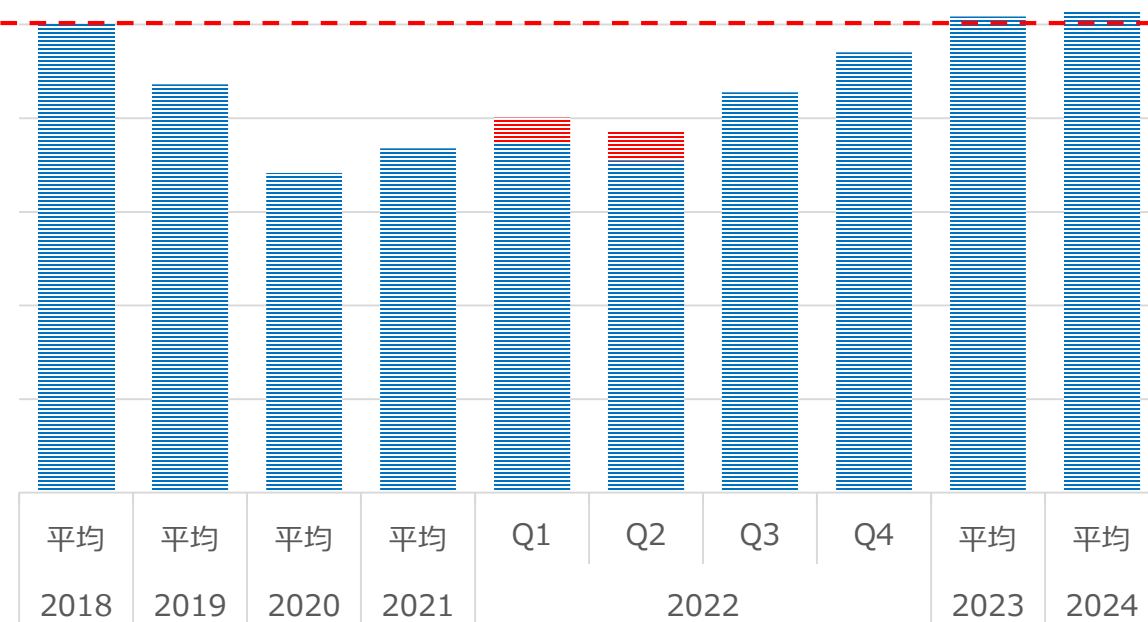
USD 135.0円 人民元 20.0円 ルピー 1.70円

* 上期経常利益として為替差益436百万円を計上し、減益幅縮小

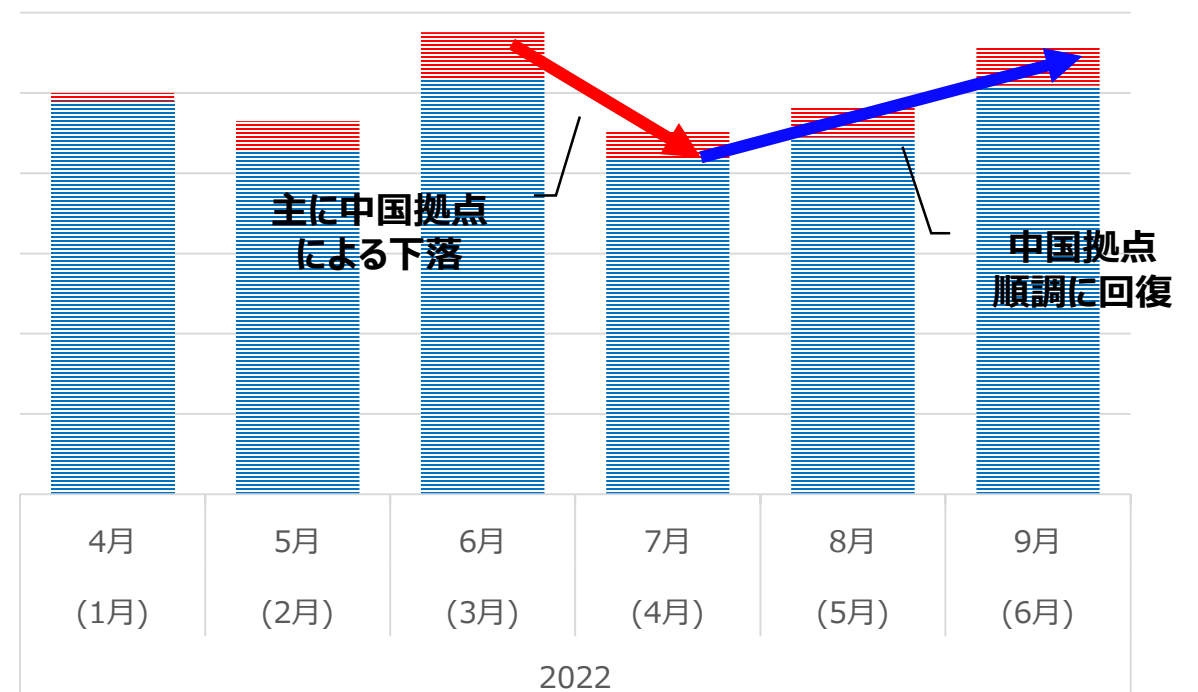
売上重量の推移

- 決算期が12月の中国拠点における上海ロックダウン影響が第2四半期の売上重量を大きく減少させる。
- 上海ロックダウン後の中国拠点は復調し、全体としても半導体不足の影響緩和等により回復傾向。

■ 期初計画からの減少分



※2018年度を100とした場合の売上重量推移

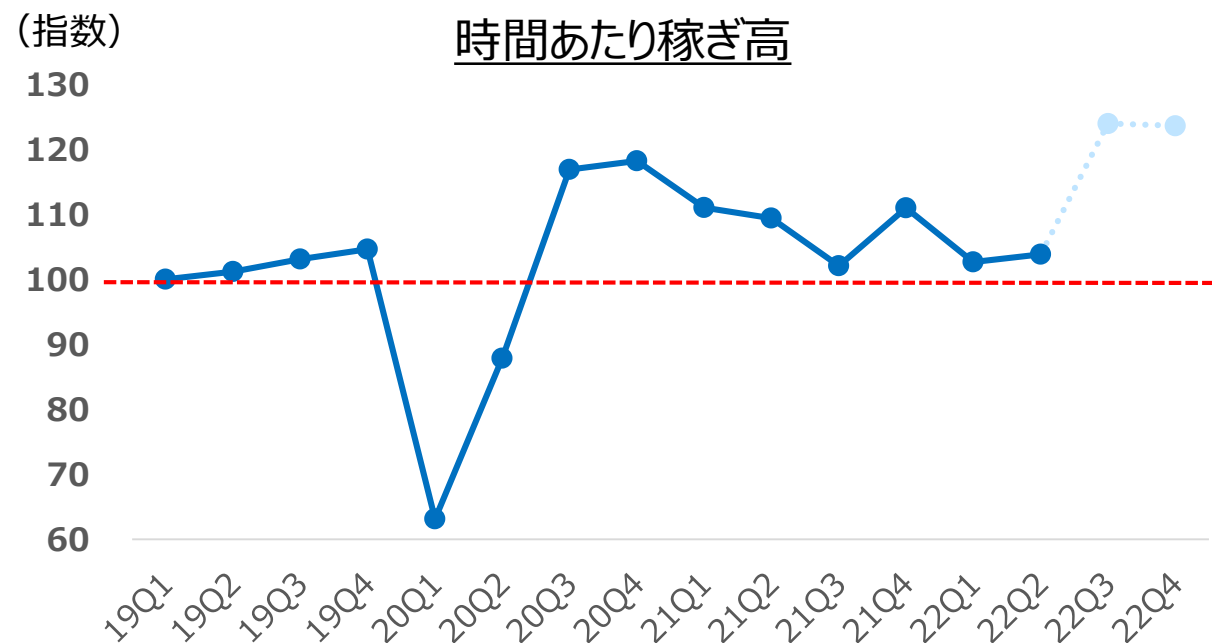


※12月決算会社は1月～6月

収益確保に向けた対応策

■ 生産性の安定：

受注変動等の中でも時間あたり稼ぎ高を、コロナ禍以前の水準で維持。下期は受注量の回復と共に稼ぎ高も大きく改善見込み



■ エネルギー費高騰による原価高への対応

- ✓ 影響額を算定し顧客へ申入れを実施中
- ✓ 上期において一部製品価格の是正が進展、実績に反映
- ✓ 未決着の是正分は下期の計画には未反映
(収益のアップサイド要因)

※時間あたり稼ぎ高 = 売上高から原材料費等の直接費を除く金額 ÷ 工場人員の総労働時間
※本資料より集計基準を決算期ベースに変更

ダイカスト事業

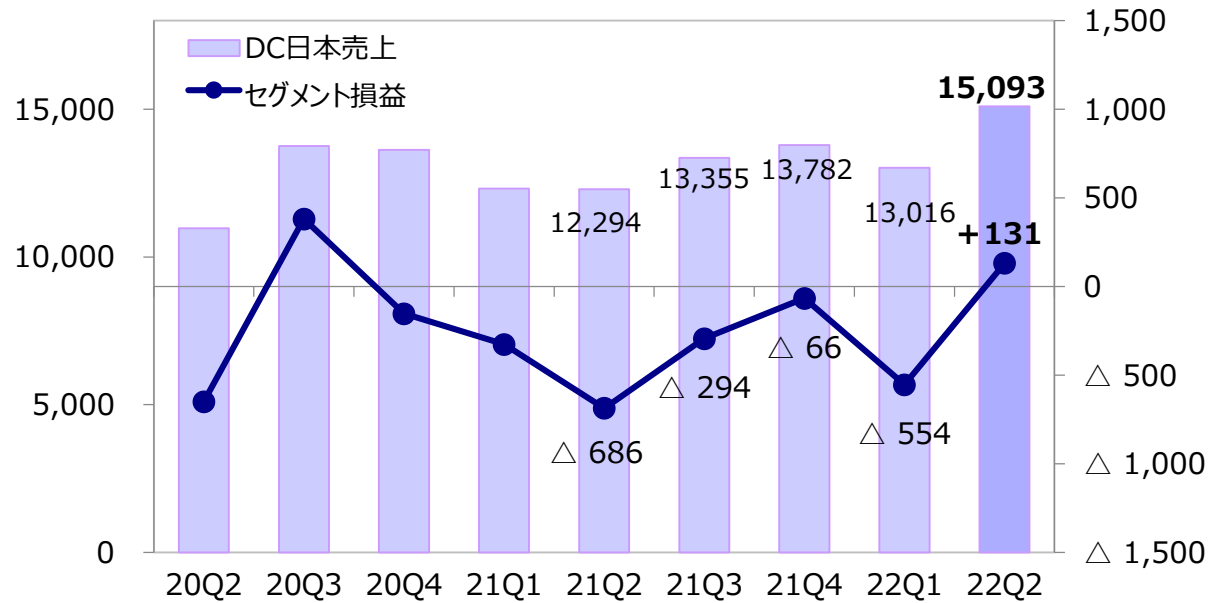
(単位：百万円)

		上期		下期		通期	
		前年同期実績	実績	前年同期実績	修正計画 (11/14)	前年同期実績	修正計画 (11/14)
日本	売上高	24,609	28,109	27,137	31,600	51,746	59,700
	セグメント 損益	△ 1,012	△ 423	△360	950	△1,372	530
北米	売上高	14,190	17,016	13,921	21,100	28,111	38,100
	セグメント 損益	△ 553	△ 713	△543	550	△1,096	△ 160
アジア	売上高	11,726	15,695	14,762	20,500	26,488	36,200
	セグメント 損益	△ 643	△ 250	96	870	△547	620

※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



《上期》

売上：281億円 前年同期比 +35億円(+14.2%)

損益：△4億円 前年同期比 +5億円(+41.7%)

➢ アルミ地金市況が改善、一方で自動車減産影響を受けるものの、売上重量の回復により増加。

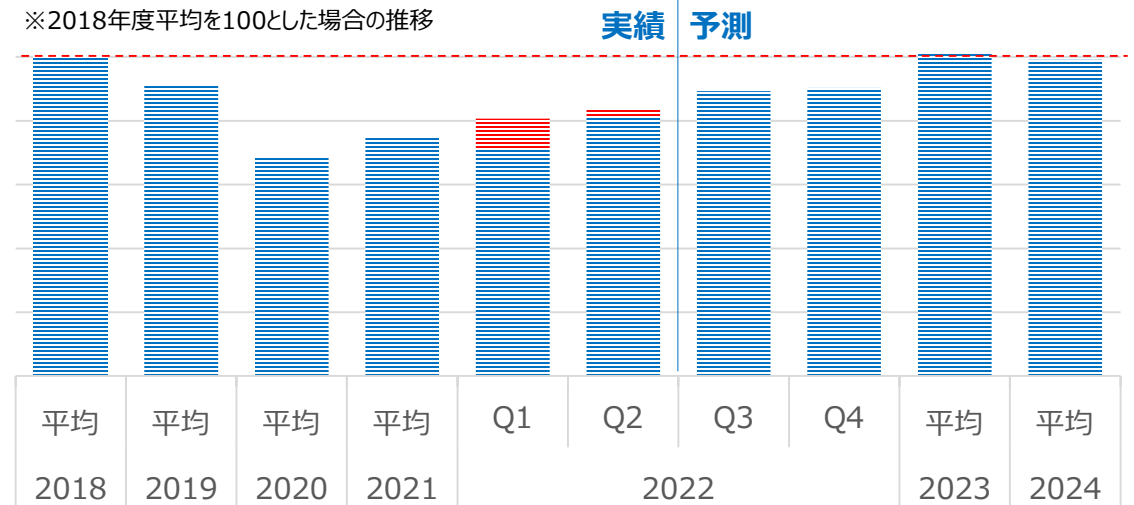
《第2四半期》

売上：150億円 前年同期比 +27億円(+22.8%)

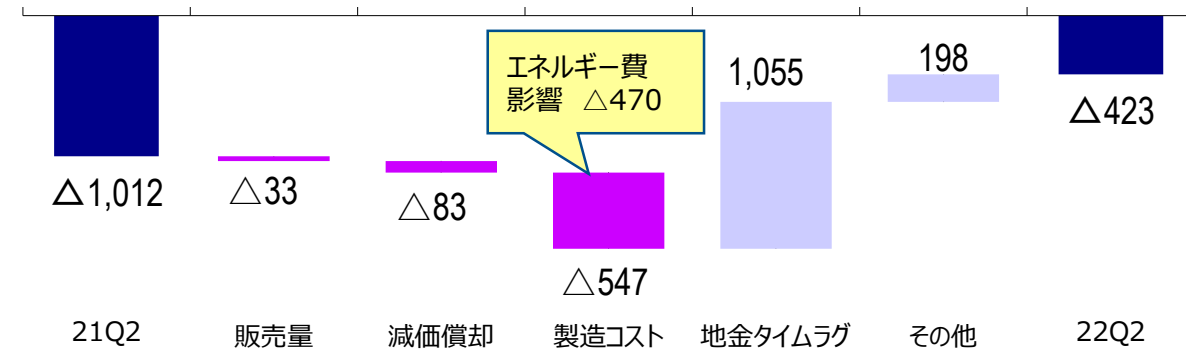
損益：1億円 前年同期比 +8億円(+19.1%)

➢ アルミ地金市況に連動した売上高の好影響により、利益増。

売上重量の推移

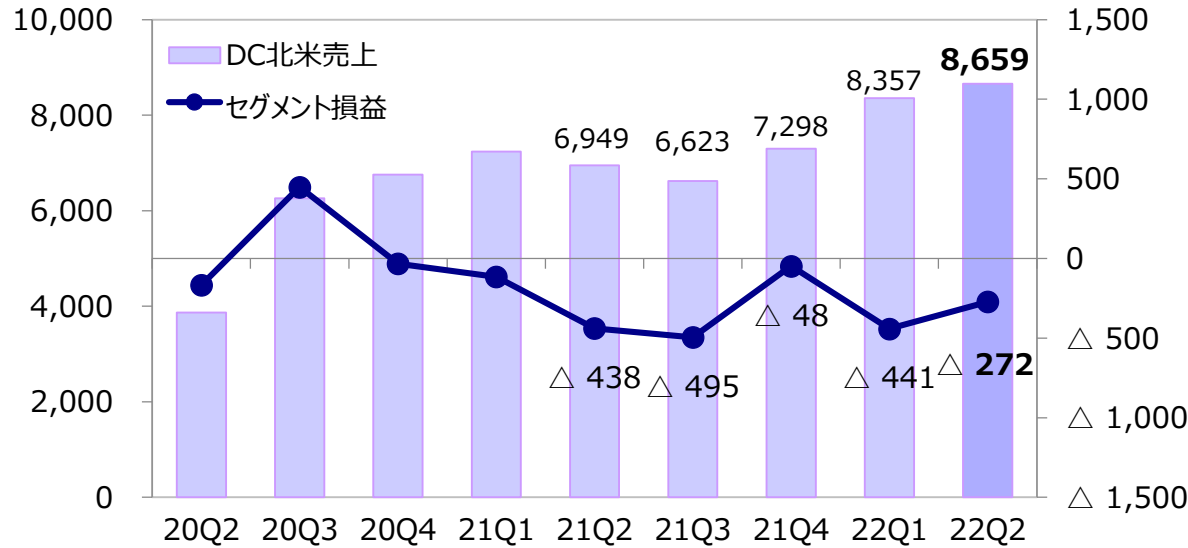


セグメント損益増減要因（単位：百万円）

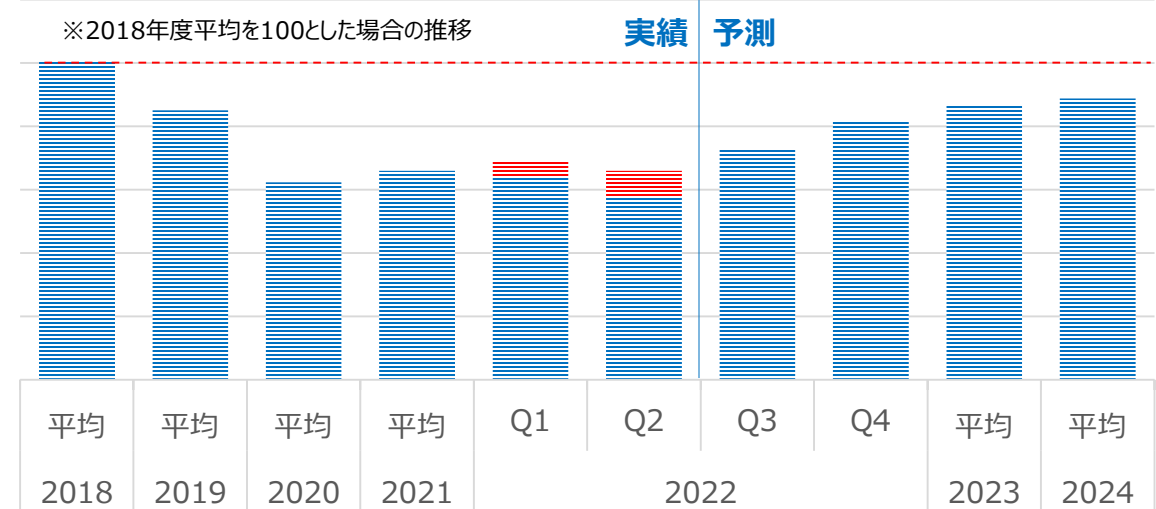


ダイカスト北米

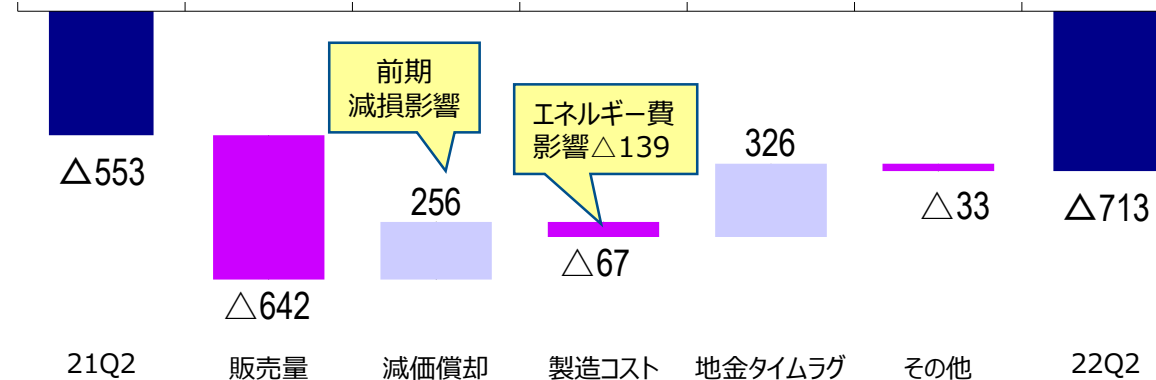
ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上重量の推移



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



《上期》

売上：170億円 前年同期比 +28億円(+19.9%)

損益：△7億円 前年同期比 △1億円(△28.9%)

➢ アルミ地金市況の改善に加え、為替レートが期初予想よりも円安水準で推移した為、売上高は増加。

《第2四半期》

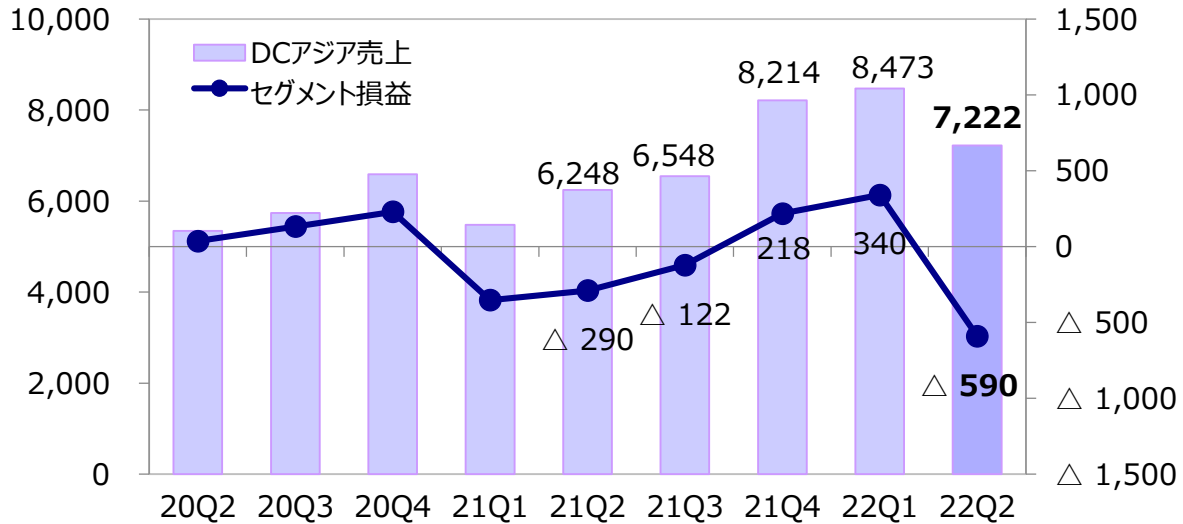
売上：86億円 前年同期比 +17億円(+24.6%)

損益：△2億円 前年同期比 +1億円(+62.1%)

➢ 米国拠点の前年度減損に伴う減価償却費減でマイナス幅は減少。自動車減産影響の為、売上重量が伸び悩む。

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



《上期》

売上：156億円 前年同期比 +39億円(+33.8%)

損益：△2億円 前年同期比 +3億円(△38.8%)

➤ 為替レートが期初予想よりも円安水準で推移した為、売上高は増加。上海ロックダウンの影響により、売上重量は想定より減少。

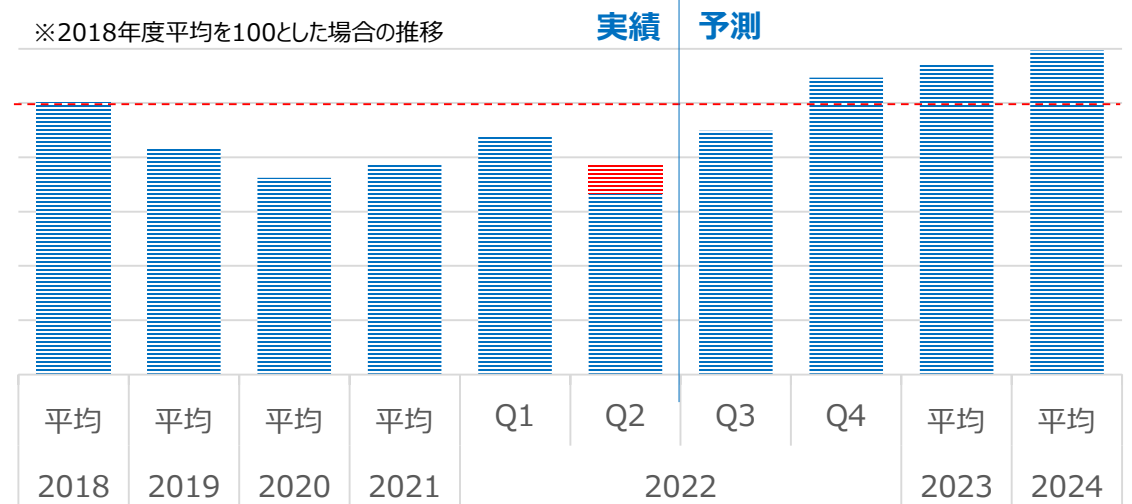
《第2四半期》

売上：72億円 前年同期比 +9億円(+15.6%)

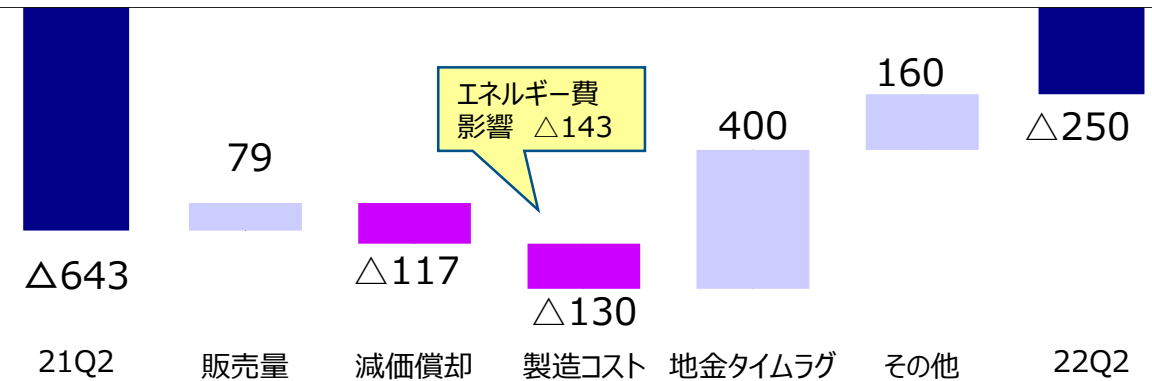
損益：△5億円 前年同期比 △3億円(△103%)

➤ アルミ地金市況の好影響を受け売上高は増加。上海ロックダウンの影響に連動し、大幅減益。

売上重量の推移



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		上期		下期		通期	
		前年同期実績	実績	前年同期実績	修正計画 (11/14)	前年同期実績	修正計画 (11/14)
アルミニウム事業	売上高	2,832	3,920	3,631	3,800	6,463	7,700
	セグメント損益	144	152	120	180	265	330
完成品事業	売上高	1,289	1,794	2,214	2,600	3,503	4,400
	セグメント損益	112	111	200	140	312	250

<アルミニウム事業>

- 売上：半導体不足の長期化による自動車減産影響により、売上重量が伸び悩み減少。
- 損益：外的要因のアルミ地金市況に連動した売上高の好影響と、原価低減や生産性改善による内的要因により利益増。

<完成品事業>

- 売上：主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加し増収
- 損益：個別受注物件の売上計上タイミングにより変動影響はあるが安定的な利益を確保



Casting Our Eyes on the Future

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。